

『ベスト』 主要登場人物

ベルナール・リユー……オラン市の医師。妻は市外で療養生活を送っている。
ミシエル……リユーの自宅兼診察室のある建物の管理人。初期にベストに罹患する。
オトン……予審判事。息子がベストに感染する。
レーモン・ランベール……パリの大手新聞社の記者。調査でオラン市を訪れている。
ジャン・タルー……数週間前からオラン市のホテルに滞在している男。ベストの流行に
ついて詳細な手記をつけている。
メルシエ……オラン市の鼠駆除課課長。
バヌルー神父……イエズス会の聖職者。ベストは神による懲罰であると市民に訴えた。

DIC
F199

K100



ベスト
49.5mm×135mm

しおり (表面)

ジョゼフ・グラン……市役所職員。のちに死亡者の集計をおこなう役割を担う。
コタール……グランの隣人。自殺未遂事件を起こす。
リシャル……オラン市の医師会長。リユーの医師仲間。
カステル……年輩の医師。血清の製造に心血を注ぐ。
ガルシア……市からの脱出工作を引き受ける組織の男。
ラウール……ガルシアの仲間。
ゴンザレス……サッカー選手。ベスト後は患者の収容所となった競技場で見張りの
仕事をしている。
マルセルとルイ……ランベールの脱出を手助けする兄弟。

DIC
F199

K100



ベスト
49.5mm×135mm

しおり (裏面)